

	意見・提言・感想等	回 答
1	<p>9月議会のうち、日程8月31日（水）.9月28日（水）.29日（木）.30日（金）本会議のみ出席・傍聴でありましたが、私にとっては 多くのことを学ぶことができ、充実した4日間でありました。</p> <p>いつもながら、北川議長、岡部副議長、多くの議員各位には、はげましの言葉や、心にしみわたる助言をいただき、心から感謝を申し上げます。</p> <p>今回の定例会は一部の質疑・答弁に対し異論が交され、異例な議会でもありましたので、すこしばかり辛口な感想と提言を述べたいと思います。</p> <p>1. 新庁舎建設にかかわる克服すべき課題について</p> <p>新庁舎建設にまつわる問題は、いまだ迷走を続けていることに驚きました。有識者会議と諸手続きを経て、ようやくたどりついたと思った矢先に、旧西中学校校舎に市総合教育センター（仮称）を整備するための設計委託料の補正予算案が議案提出されました。</p> <p>その内容は概算工事費すら見通しされないままでの提案そして採決とはずさんで、いい加減な計画をまざまざと見せつけられ、残念でなりません。</p> <p>ルールに基づいて、公平性、公正性を最も大切な価値観としての自治体のあるべき姿ではなく、市への信頼が“ゆるぐ、思いでありました。</p> <p>●私見になりますが、この迷走の真因は 何かを指摘したいと思います。</p> <p>①衆知を集めた将来ビジョンを欠く巨大プロジェクトであったこと</p> <p>②総轄責任者の不在</p> <p>③多くの課題（総事業費、財源、立地、時限、評価基準、民意等）がある中での楽観的なプロセス管理が考えられます。</p> <p>●特に採決は賛成議員多数をもって可決されました。</p> <p>市民として厳しゆくに受け止めますが、政治的取引のうら事情が感じられ、後味の悪い事案でありました。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。</p> <p>いただいたご意見は、各議員・当局にお伝えします</p>

●市総合教育センター（仮称）の整備について

市民感覚で感想を述べると

「未来を担う 学生さんの学びの場（校舎）は100年で、私達の職場総合教育センターは「おそらく、エレベーターつき空調のととのったモダンな新設の建物を利用します」教育をする立場の人達として、あまりにも自己中心であり、はずかしくありませんか？

・新庁舎建設総事業費は令和2年8月21日市民説明会の58億円から膨らみ続け現在に至っても、その全体像がみえません。

その対応策の提言になりますが

①事業予算にキャップをはめること

②民意を積み上げれば、予算は際限なく積み上がる（限度はあるが）ことが想定されます。

積み上げ型から目標型設計制度への転換を要望します。大切なことは、予算統制導入と強い意志が「未来を開く」カギとなるでしょう。

2. 市民生活の現状を正しく共有する方法について

一般質問の質疑と答弁は幅広い分野にわたり、課題の深掘りが行なわれ、自己改革を図るべき示唆と多くの教訓をいただき、お礼を述べます。

その際、字句の読みちがい、慎重を欠く言葉づかいをふくめ、会議録に記載できない文面にならないよう、細心の注意をお願いいたします

特に6番議員との質疑の時に「当市の歴史的な産業構造がもたらす、国民年金受給者の多さ」の指摘に対し、執行部は「認識していない」との答弁がありました。

この考え方が当市の共通認識だとするならば「未来は開けない」と思料します。

ご承知の通り、国民年金受給者の多くは年間最大80万円を、やや下回る年金額をもって、生活を余儀なくされております。預金が底をつけば支払いの意思があっても、納税・社会保険料金の支払いができない悲しい現実があります。人口減少と高齢化社会が、持続的運営を目指す、当市にとって大きな影響の波及と将来にわたり、最大の難題がまち受けていることを覚悟していただきたいと思えます

タイミングよく市長の「窓口設置をいそぐ」との発言があり、ほっといたしました。

恵まれた人達には想像もつかない現代社会と命とのたたかいが繰りひろげられていることを再認識していただきたい。

	<p>3. 桐生市の現状と未来展望について</p> <p>10月6日 上毛新聞の県移動人口調査（2022年9月1日現在）によると、桐生市の人口総数は102,894人との発表があり、10万人割れが間近にせまり、心がいたみます。</p> <p>当初繁栄に「ゆがみ」をもたらした要因は 人口の急激な現象から端を発していると考えます。</p> <p>経営諸資源流出という負の縮小サイクルが長年にわたり続き過疎都市へと変ぼうを余儀なくされました。このことは日本国からイエローカードをつきつけられたことを意味します。</p> <p>大切なことは 当市の歴史的経緯を精査し、現実を正しく認識し、論理的に組立て直す。そして正しい解決策を導き出すことが肝要だと考えます。</p> <p>広報きりゅう10月号には「人口減少対策に関するワンストップ窓口の設置」と要点が示されました。</p> <p>当市の末しょう組織（子供育成会、スポーツ団、婦人会、自治会、神社祭典等）が機能不全しつつある現下、早期の本格活動を期待する次第であります。</p> <p>「地域社会は皆様の想像を超える、いたみと苦難な局面を迎えていることを忘れないでいただきたい」と私見を述べて、結びといたします。</p>	
<p>2</p>	<p>桐ペイについて、やはりデジタル機器が苦手な高齢者などには、使えるようになるのに少し難しいのかなと思います。のでわかりやすい説明をお願いしたいと思います。</p> <p>又、黒保根のペイペイを使用できるお店が増えていると聞きました。良かったです。</p> <p>最初だけでなく、今後も半年に1回等キャンペーンをやったりしたほうが利用者が増えるのではないかと思います。</p> <p>球都桐生プロジェクトは何かとつぜん聞いた気がしましたが、私のように野球好きで昔の強かった桐生を知っているので賛成です。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。</p> <p>いただいたご意見は、当局にお伝えします</p>
<p>3</p>	<p>(本会議)</p> <p>私のパソコンの調子に問題があったからなのか、議員さんの発言がところどころ聞き取りづらいときがありました。アクリル板なども設置されているので、発言するときはマスクを外してもよいのではないかと思います。</p> <p>(ホームページ)</p> <p>ホームページはまとまっていてわかりやすかったですが、目的になかなかとどり着けないと感じました。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。聞き取りづらい発言につきましては、マイクを意識して発言するよう、今後も周知していきたいと考えています。</p> <p>マスクを外しての発言につきましては、必要に応じて協議していきたいと考えております。</p> <p>ホームページの内容については、検索しやすく</p>

令和4年度 議会モニター意見（10月分）

		なるよう今後も研究していきたいと考えております。
--	--	--------------------------